

リサイクル原料を 100%利用した フィルム成形

宇陀化成工業株式会社

リサイクル原料を 100%使用したごみ袋の製造、
バイオマスの配合を高め更なるエコ商品の追求

技術・商品の特徴

宇陀化成工業株式会社の技術の特徴は、永年の経験と知識から蓄積されたノウハウをフルに活用していることである。

例えば古くなって廃棄されるようなインフレーション成形機を持ち込み、自社のノウハウでポリエチレン袋の生産に最適となるよう改造を加え、自社の主要生産設備に加えるなど、装置面でのリサイクルを実践している。

ポリエチレン袋には需要家の要請により各種の色付けを行うが、宇陀化成工業株式会社ではリサイクルポリエチレンに由来するいろいろな色のついた原料を配合して製品を着色するノウハウがあり、顔料を使わずに需要家の要求する色の製品をつくる原料配合技術は宇陀化成工業株式会社特有のものである。

新商品の開発については、新素材（バイオマス）の配合技術を積極的に開発するなど、生産設備が即実験機として活用できる強みをフルに活用し、速いスピードで新商品開発がすすめられることも大きな特徴である。



ごみ袋のオンライン印刷機

これまでの歴史

宇陀化成工業株式会社は、現会長の栗林道治氏が昭和 44 年（1969 年）に包装資材加工販売を目的に栗林商店を創設した。

昭和 60 年（1985 年）ポリエチレンのインフレーション成形でメーカーとして操業を始め、昭

和 62 年（1987 年）宇陀化成工業株式会社を設立した。

創業以来企業のコンセプトはエコに徹し、ポリエチレン収集袋にエコマークを取得し、奈良県のリサイクル認定製品に認定されるなど、環境にやさしい商品作りを進めてきた。

平成 20 年（2008 年）現在地に本社工場を移転し、製袋と共に 4 色印刷機を稼働して需要家指定の商品まで一貫生産を始め、合理化に努めた。



製品のいろいろ

これからの活動

プラスチック市況は中国の安値攻勢で苦境に立っている。ごみ袋は輸入品が国内需要の 80 ～ 90% を占める典型的な輸入依存産業である。

このような背景のもとで、宇陀化成工業株式会社は、企業から排出されるプラスチック廃棄物をその企業の包装袋或いは保護材料に形を変えて使用し、企業のエコ活動に協力する新しい営業活動を展開し市場を拡大している。

従業員は 20 人と少人数であるが、栗林道治会長、ご子息の栗林浩二社長が先頭に立って生産技術、商品開発、販売を手掛け、従業員の資質向上に努めており、従業員のモラルも高い。

宇陀化成工業株式会社は今後も発展が期待される頼もしい企業である。



宇陀化成工業株式会社



代表取締役社長 栗林 浩二

〒 633-0242

奈良県宇陀市榛原篠楽 117 — 1

TEL ■ 0745 - 85 - 3001

FAX ■ 0745 - 85 - 3002

URL ■ <http://www.udakasei.co.jp>